

アンダージュニアボクシング 実戦競技規則

1. 体重区分・ラウンド

※UJ 規則の変更点

①10 歳以上 12 歳以下である小学校 5・6 年生（男女同じ）

階級	体 重	ラウンド(ラウンド間の休憩 1 分)
31kg 級	28kg 超 31kg まで	1 分 30 秒 × 3 R
	以下 52kg 級まで 3kg おきの階級とする	1 分 30 秒 × 3 R
56kg 級	52kg 超 56kg 迄	1 分 30 秒 × 3 R

②12 歳以上 15 歳以下である中学校 1・2・3 年生（男女同じ）

クラス	体 重	ラウンド(ラウンド間の休憩 1 分)
33kg 級	30kg 超 33kg まで	2 分 × 3 R
	以下 60kg まで 3kg おきの階級とする	2 分 × 3 R
64kg 級	60kg 超 64kg まで	2 分 × 3 R
	以下 72kg まで 4kg おきの階級とする	2 分 × 3 R

< 体重範囲の特例 > ※UJ 規則の変更点

全日本 UJ ボクシング大会並びに全日本 UJ 王座決定戦について、日本連盟は都道府県選考会から全日本大会までの期間を考慮し、選手の過度な体重調整をなくすことを目的に、全日本大会のみ各階級の上限体重を 1kg プラスして大会を開催することができる。

2. 用具

① バンテージ

原則として、シニア・ジュニア同様、5 cm 以下 × 2.5m 以下とするが、3 cm 以上 × 1.7 m 以上である事。（日本ボクシング連盟の検定品である事）

② グローブ ※UJ 規則の変更点

原則として 10 オンスとし、小学生の 56kg 級及び中学生の 60 kg 級以上は 12 オンスとする。

③ ヘッドガード

S,M,L サイズの内、各自の体格に合ったサイズの競技用ヘッドガードを着用する。（日本アマチュアボクシング連盟の検定品である事）※県予選でのヘッドガードについては県連盟のものを使用する。

④ ファールカップ

上記同様各自の体格に合ったサイズとする。（メーカーの指定はない）

⑤ チェストガード

幼年の発達状況及び各人の体格に合わせた適宜のチェストガード（胸パットを含む）とする。（メーカーの指定はない）※県予選でのチェストガードについては県連盟のものを使用する。

⑥ マウスピース

ジュニア・シニア同様、各自の歯形による適宜のマウスピースとする。赤いマウスピースは認めない。（メーカーの指定はない）

3. 健診項目

原則，ジュニア・シニアと同様であるが，下記の点が異なる。

①体温

男女とも 37.5°Cを上限の目安とする。

但し，37.8°C迄は医師の判断で出場可能とする。

②実戦競技については，頭部 CT スキャンによるチェックをクリアしている事。

4. カウントリミット

レフリーストップのカウントリミットは次の通りとする。

① 小学生：1 ラウンド 2 回、全ラウンド合計 2 回

② 中学生：1 ラウンド 2 回、全ラウンド合計 3 回

以上